

手指媒体による 意思疎通方法の 地平線



《手》高村光太郎

日本手話と日本語対応手話 — 教育現場の立場から —
林 雅臣 氏 (明晴学園)

日本手話と日本語対応手話 — みんなで考えてみよう —
小林 信恵 氏 (NPO 手話教師センター)

日時： 4月4日(土) 13:00~17:00 (受付：12:50~)

場所： タワーホール船堀 (4階402室)

参加費：2015年度会費納入者 無料

2014年度会費納入者 無料

非会員 2000円

定員： 40人 (先着順) 通訳(日本手話⇔音声日本語)有

❏ 電子メールの件名を「2015年度第1回手話学セミナー参加申込」とし、本文に「氏名(ふりがな)」「住所」「会員の有無」「メールアドレス」を明記の上、日本手話学会事務局(jaslinfo@jasl.jp)にお申し込み下さい。

❏ 事前申込み切：3月30日(月)

❏ FAXでの申込み受け付けます。FAX: 075-315-8472

❏ 弊会事務局より返信がないときは、事務局に再度お問い合わせください。

❏ セミナー終了後、懇親会を予定しています。詳細については事務局までお問い合わせください

❏ 手話学セミナーは原則として事前申込を行った方のみ聴講できるものとします。

事前申込を行わずに当日参加された場合は、日本手話学会会員でも2000円戴きます。

❏ 事前申込における個人情報手話学セミナー参加者名簿管理にのみ用います。

2015 年度手話学セミナーについて

現在は「日本手話」や「日本語対应手話」という用語もほぼ定着してきたかのように見受けられます。しかし、「日本『手話』」という用語に含まれる『手話』の語義と「日本語対応『手話』」という用語に含まれる『手話』の語義は果たして同じなのでしょうか。「日本『手話』」という用語に含まれる『手話』の語義は「手指媒体と手話言語の文法を持つ」というものです。一方、「日本語対応『手話』」という用語に含まれる『手話』の語義は「手指媒体と日本語に準じた文法を持つ」というものです。すなわち、「日本手話」と「日本語対应手話」は手指媒体を有するという点では共通しているのです。しかし、現在は、とすれば文法の違いに関心が集まる傾向があり、手指媒体という共通点にはさほど関心は寄せられていないようにも見受けられます。

日本手話学会の企画委員会は、手指媒体を用いた意思疎通手段全般を鳥瞰することにより、その地平に日本手話や日本語対应手話の新たな位置づけを図ることを試みるべく、2015 年度手話学セミナーの企画を設けることにしました。現在、手指媒体を用いた意思疎通手段としては、日本に限っても「日本手話」「日本語対应手話」の他に「修道院手話」や「聾ベース盲聾者の触手話」が思い浮かびます。そこで、2015 年度手話学セミナーを実施するにあたり、第 1 回は「日本手話と日本語対应手話」第 2 回は「修道院手話」第 3 回は「聾ベース盲ろう者の触手話」というテーマで講師を招聘することにしました。また、若手の積極的な招聘を図り、講師と聴講者が自由闊達な意見交換を図れるようにすることも考えています。皆様のご参加をお待ちしております。

📌 第 2 回手話学セミナー 2015 年 6 月 13 日 (土) 13:00~17:00 タワーホール船堀

📌 第 3 回手話学セミナー 2015 年 9 月 19 日 (土) 13:00~17:00 タワーホール船堀

📌 日本手話学会 第 41 回大会 2015 年 12 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日) タワーホール船堀

[講演] 「台湾の手話言語学」 張 栄興 氏 (台湾 国立中正大学言語研究所 所長)

[企画] 「台湾手話講座」 顧 玉山 氏 (台湾 手話指導者)

[発表] 発表申込〆切: 9 月末 (予定)

タワーホール船堀: 都営新宿線「船堀駅」徒歩 1 分

